

月10万円相当を懸賞で当てるのも夢じゃない！ 情報収集「コツ」の「コツ」！

一体、どんな懸賞情報があるの？ 効率よく情報収集する秘訣を公開します

1 新聞・雑誌のプレゼントコーナーはマメにチェック



週末に折り込まれる特設版や地方版にはプレゼント情報が掲載されることが多いもの。官製ハガキで応募する懸賞が多いので、外出先などで、自分の家をとっている新聞以外に目を通す機会があれば忘れずに。

2 スーパーは懸賞情報の宝庫。買い物ついでに見てまわる

スーパーの食品売り場には、懸賞応募のハガキなどが置かれていることも。商品を購入した人を対象にしているクローズド懸賞が多くなっており、対象商品のバーコードなどを集め、それを応募ハガキに添付するのが一般的。最近では、商品を購入したレシートを添付するスタイルが増加傾向に。懸賞は、各メーカーが主催、スーパーのみの主催、スーパーとメーカーがタイアップしたものなどいくつかありますが、当選確率が高いのが、メーカーとスーパーのタイアップ。共催しているスーパーの系列店にしか応募ハガキが設置されないのが、競争率は比較的低くなります。一方、メーカー主催のものは全国規模で実施されることが多いので、応募ハガキは全国的なところで配布されており競争率が高くなります。

3 おいしい情報が多いメールマガジンを購読

先着順のプレゼント情報など、いい懸賞情報が最初に掲載されるのがメールマガジン。そうした情報をいち早くゲットするには、企業や雑誌から直接送られてくるメールマガジンを購読するのが一番確実。小島さんがチェックしている企業系のメルマガは、飲料、食品、化粧品、日用雑貨関連。新製品発表時にモニター募集やサンプル配布としてキャンペーンを行うことがある「P&G」「花王」「資生堂」のメルマガは見逃せないとか。飲料系のメーカーでは商品ごとにメルマガを発行していることが多く、全部を購読すると管理がとても大変。でも、総合メルマガを購読すればキャンペーン告知などはすべてそこで行われることが多いので十分。メール管理もラクになります。

5 テレビやラジオもチェック。各社の公式ホームページも

テレビやラジオは懸賞情報がいっぱい。番組に対するご意見・ご感想をお寄せくださいというフレーズはよくきく言葉です。各番組では公式のホームページを持っており、そこから応募ができるようになっていることも。投稿系の番組だけではなく、音楽番組では出演者のCDやグッズのプレゼントがあったり、クイズ番組では優勝者を予想するプレゼントクイズがあったり。好きな番組はホームページもチェックして。

4 懸賞の総合サイトで懸賞ネタをまとめてゲット

現在実施している懸賞を探すなら、自力で探すより、インターネットの懸賞サイトで探すのが手取り早いのでおすすめです。懸賞サイトが独自に発行しているメルマガもあるので、購読しておくといいかも。

6 図書館でいろいろな雑誌をチェック

雑誌はプレゼント情報源のひとつ。とはいえ、いちいち買っていたのでは雑誌代がかかってしょうがない……そこでたくさんさんの雑誌が置かれているのが地域の図書館。冬は暖かく、夏は涼しいと居心地は申し分ありません。いい情報を見つけたら必ずメモをとって。

1週間にこれだけ当選したこと!

- フリーペーパー「リバーダンス仙台公演ペアチケット」(22,000円相当)
- 伊藤ハム「ベルギー王室御用達ヴィタメルススイーツセット」(15000円相当)
- みやぎ生協でレシピ本「エヴリデートマト」3冊(1000円相当×3)
- セブンイレブンで「お菓子無料引き換え券セット」(2000円相当)
- リオンドール&牛乳石鹸で「リオンドール商品券」(2000円分)
- ドラッグストアの冊子で「コエンザイムQ10」(5000円相当)
- フジフィルム「こだわりのグルメギフトカタログ」(5000円相当)
- ヨークベニマル&エフティ資生堂「エフティ資生堂ギフトセット」(3000円相当)
- 森永クリープで「ペアコーヒーカップ」(10000円相当)
- 大塚製菓で「ポカリスエットペアTシャツ」(5000円相当)

退社 & 買い物 / 帰宅途中にスーパーにより、懸賞ハガキをさがしながら夕食の買い物

18:30

夕食、後片づけ、洗濯など

7:00

起床 / 夫と子供のお弁当づくりに専念

9:00

通勤 / 家から5分のところにある会社へ車で出社

12:00

お昼休み / 家からもってきたお弁当を食べながら、メールをチェックしながらネット懸賞に応募。5通程度に応募

20:00

23:00

懸賞情報チェック & ハガキ書き / 録画しておいたテレビ番組の懸賞情報をチェックしメモ。懸賞のハガキは週末にまとめて書く

24:00

就寝

懸賞の達人 小島さんの1日の生活

小島さんは週に20〜40件、月にすると1000件程度は懸賞に応募しています。もしかして、メールやハガキを書いてばかり……と思われそうな小島さんの1日ですが、実は懸賞に費やす時間は意外にこくわずかでした!